

印刷物ほか

美学校という場所を知っていただくために、当校ではイベントの開催や校内見学、説明会の開催などを随時行っています。また、より手軽に美学校について知っていただくため、広報物の制作にも注力しています。

2022年度は、グラフィックデザイナーの横越英実さんがチラシのデザインを、デザイン、音楽、演劇などの制作と発表を行う鈴木健太さんがポスターのデザインを担当しました。お二人とも当校の修了生です。ポスターは、当校シルクスクリーン工房で一枚一枚刷っており、当校のウェブストアで販売もしています。

また、本年度は日々の業務に加え、古くなった設備の修繕、2019年に出版した書籍の部分英訳、テレビ番組収録のための場所提供、新たに借りたスペースのための什器制作などを行いました。



2022年度5月期チラシ

- デザイン——横越英実
- 判型—A5、カラー

美学校
って
どんな
ところ?

WEL
COME

TEACHER

「テクニク&ビクニック」講師
伊藤桂司
原住家、絵師

「テクニク&ビクニック」は、創作における技術の獲得(テクニク)と楽しさの探求(ビクニック)を主目的とした講座です。基本的にワークショップ形式の授業ですが、良い「アイデア」を最高の高い状態で形にするコツのようなものを感じ取ってもらえたらと思っています。歴史ある美術学校の伝統も、多様な個性を持つ受講生は徹底欲や知的好奇心が高く、制作プロセスもなかなかスリリングで、毎回3時間はあっという間に過ぎていきます。時にはお酒を飲みながらのディスカッションも、自由度の高いこの学校ならではの良さです。

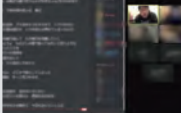


TEACHER

「実践「自己プロデュースと作品づくり」」講師
入江 潤
シンガーソングライター、映画音楽家、文案家

この講座は、いろいろなタイプの作品づくりを志す受講生さんたちが集まっています。「いままでバンドをやっていたけど、ソロ作品を作ったみたい」「音楽をつくるのが初めて」「Instagramにアップする映像を作りたい」「はじめてCDを作ってみた」などなど、なんでもウエルカムです。ぜひ、という企画も自然に生まれたり！

自分とは異なるタイプのメンバーの作品づくりを横目でみるのも、楽しく刺激になるかもしれません。直感で良いかも、と思ったかた、見学からでも、ぜひお待ちしております。



TEACHER

「劇のやめ方」講師
篠田千明
演劇作家、演出家

「劇のやめ方」という講座を昨年5月からスタートしました。当初カリキュラムは「劇のやめ方」より大きなテーマだけに決まっていなかったのですが、受講生との雑談やディスカッションから、中止し、劇の書き換え、といったさらなる創作につながるテーマが生まれました。劇は舞台上だけのものではなく、私たちが生きる社会で毎日喧嘩しています。講座では受講生が日常で感じている感覚ない違和感-社会で起こる劇についてのディスカッションと、そこから生まれた創作の開始と講座を進めていきます。美学校の講座は1年間と時間がたっぷりあるので一人一人と向かい合えるのが魅力だと思います。



STUDENT

「実践「自己プロデュースと作品づくり」」受講
おもち
20代/大学生

講座でもオンラインで進捗を報告し合うことで、他の受講者の方の状況をリアルタイムで知る事ができ、モチベーションの維持にも繋がります。講座です！反応してくれる仲間がいるのは、すごく心強い作品制作の味方です。



STUDENT

「造形講座1」受講
辻
30代/会社員

何を履きたいか自分でも分からず困っていた時に美学校を知り、受講を決めました。私は美大出身ではないので正直不安でいっぱいでしたが、取り越し苦労でした…。クラスメイトの年齢も経験もそれぞれ違い、出来る作品も全く違って行く中で、面白い刺激や発見があります。何より、講師が良い時悪い時も毎週聞く、そしてどんな出来映えでも受け入れてくれる環境という意味で、とても励みになっています。



STUDENT

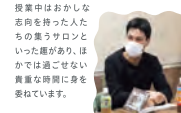
「歌謡曲—J-POPの歴史から学ぶ音楽入門—制作編」受講
佐藤花里
30代/アルバイト

音楽の授業をZOOMで受講しています。毎回配信が丁寧で、アカオプの動画も見やすく、とても受講しやすかったです。美学校は、一貫して美術・芸術的です。それが美学校らしさだと思っています。市民講座などとは違った形で、どの世代でも、知識量などを問わず、美術・芸術に触れられると思います。(色々書きましが、一つは少し受講してという印象があります！)個人的に大変いい学びの場に出会えたと思っています。

STUDENT

「特殊演習-前衛の道」受講
武石智史
30代/フリーライター

仕事であるライター業に寄り添い、凝り固まった頭の中を柔らかくしたいと思い受講しました。漫画や絵を描いたことがないという真性のヘタクだったのですが、いぶか不安でしたが、ヘタでも先生や生徒さんが真摯に見て講評してくれるので、自信が少しずつ生まれていきました。授業中はおかしな志向を持った人たちの集うサロンといった趣があり、ほかでは感じない貴重な時間と身を覚えていきます。



GRADUATE

「ルーティン&ミックス・プレミアム」
「アレンジ&ミックス・クリニック」習得
大津沙良

美学校では技術は勿論、センスや自分の曲に対する多角的な見方を養うことができました。アレンジの授業では内容も受講生の方々のレベルが高く、初めは恐ろしい感じがしましたが、先生を初めた生徒から素晴らしい感想を聞くことができたことで、1年の受講を通して自分の音楽に対する自信がつかえました。

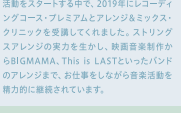


GRADUATE

「劇 似てやめるもの」習得
瀬澤綾音

通ってきた音楽の道が全く違う方々から様々な視点の意見を得られたことは、大変貴重な経験だったと振り返っています。

大学時代のバンド活動を経て、社会人になってからはソロ活動で音楽活動を続けていた大津さん。映画の劇伴制作をきっかけに本格的に活動をスタートする中で、2019年にルーティン&ミックス・プレミアムとアレンジ&ミックス・クリニックを受講してくれました。ストリングスアレンジの力を生かし、映画音楽制作からBIGMAMA、This is LASTといったバンドのアレンジまで、お仕事をしながらか音楽活動を積極的に継続されています。



GRADUATE

「劇 似てやめるもの」習得
瀬澤綾音

美学校は自分の原点で、かけがえない存在です。全ての人に聞かれているのも魅力の一つ。ご縁があり直感で働いたら踏み込んでみることをおすすめしています。

真摯さと粘り強さにあふれた多様な人達との創造と破壊の激しい日々。人生や表現への確かな一生分くらいもらった日々。今も初心を思い出したり、さらに進むきっかけをくれる場所です。

全ての人に聞かれているのも魅力の一つ。ご縁があり直感で働いたら踏み込んでみることをおすすめしています。



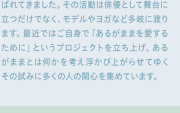
GRADUATE

「歌謡曲—J-POPの歴史から学ぶ音楽入門—制作編」受講
おもち

美学校は自分の原点で、かけがえない存在です。全ての人に聞かれているのも魅力の一つ。ご縁があり直感で働いたら踏み込んでみることをおすすめしています。

真摯さと粘り強さにあふれた多様な人達との創造と破壊の激しい日々。人生や表現への確かな一生分くらいもらった日々。今も初心を思い出したり、さらに進むきっかけをくれる場所です。

全ての人に聞かれているのも魅力の一つ。ご縁があり直感で働いたら踏み込んでみることをおすすめしています。



GRADUATE

「ルーティン&ミックス・プレミアム」
「アレンジ&ミックス・クリニック」習得
大津沙良

美学校では技術は勿論、センスや自分の曲に対する多角的な見方を養うことができました。アレンジの授業では内容も受講生の方々のレベルが高く、初めは恐ろしい感じがしましたが、先生を初めた生徒から素晴らしい感想を聞くことができたことで、1年の受講を通して自分の音楽に対する自信がつかえました。



修了生
紹介
修了生には
どんな人が
いる?

ME

GRADUATE

「絵巻物制作」修了
渡辺のり子

「こういう描き方があるんだー!」は、私は水彩画が苦手でした。線みやボカシを使うという色も出てきました。

しかし細密な描き方は、細い筆で何層も色を重ねていくもので、色ガラスを重ねたような透明感を表現できることに衝撃を受けました。通常の描き方は一筆で描いた美学校の視点は、とてもユニークで新鮮です。

この学校の素晴らしい特長で挙げたいのは、自分にとってとても幸せなことだったと思っています。

美術大学を卒業後にデザインの仕事をしていた渡辺さんは、ある時絵巻物に興味を持ち、美学校の絵巻物講座を受講します。計5年間にわ

GRADUATE

「歌謡曲—J-POPの歴史から学ぶ音楽入門—制作編」受講
おもち

たつて細密な描き方に驚いた後制作を続け、現在は定期的な作品を発表されています。渡辺さんが目指したのは線を中心とした墨画、筆、具など自然のモチーフをモチーフです。優しい筆致で内容に描かれたその作品は、写真や美術とも異なる魅力を発するものを見つけました。



GRADUATE

「ルーティン&ミックス・プレミアム」
「アレンジ&ミックス・クリニック」習得
大津沙良

美学校では技術は勿論、センスや自分の曲に対する多角的な見方を養うことができました。アレンジの授業では内容も受講生の方々のレベルが高く、初めは恐ろしい感じがしましたが、先生を初めた生徒から素晴らしい感想を聞くことができたことで、1年の受講を通して自分の音楽に対する自信がつかえました。



FAQ

Q1 どんな人が通っていますか?

年齢、国籍、学歴、経験不問のため、下は10代から上は80代まで、職業も受講目的も様々な人が来ています。作家を目指している人、劇に作家として活躍している人、企画・運営に関わりたい人、業界が広い人、経営者など一社一社を受講生との出会いが美学校の魅力のひとつです。

Q3 オンラインの講座はどんな感じですか?

ZOOMおよびDiscordというアプリで行っている講座は、講師はハイテクで進んでいるつもりでも知られるので、多忙な方や地方在住の方も多く受講されています。対面とオンラインのハイブリッド形式で行う講座もあり、各自のライフスタイルに合わせて参加可能です。

FAQ

Q2 講座はどんな感じですか?

講座は日(13-17時)と夜(18:30-22:00)の2回に分けて行われます。1回の講座が2時間半~4時間と長いのが特徴です。ひたすら制作をする講座もあれば、随時授業を受けたりする講座もあります。受講生は各講座平均5人程度で多くても10人ほどです。

Q4 もっと詳しく知りたいです。

講座レポートや講師インタビュー、修了生インタビューなどを美学校サイトに掲載しています。是非チェックしてみてください。

<http://bigakko.jp/category/講座開講/>

2022 年度 10 月期ビジュアル

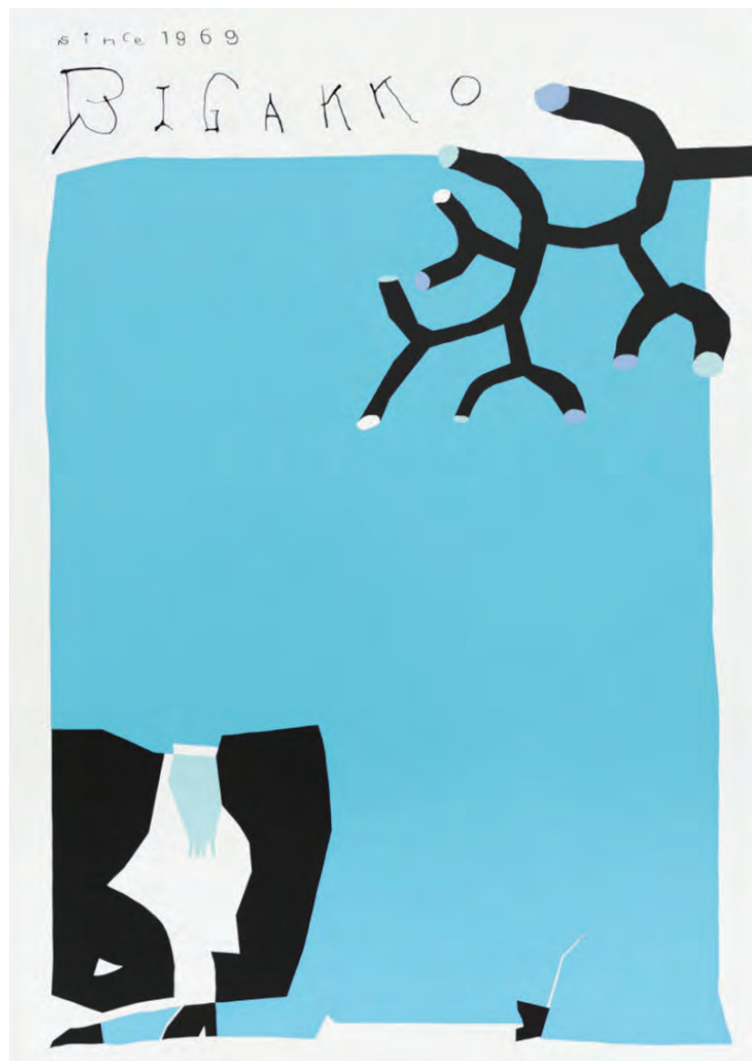
● デザイン——横越英実



印刷物ほか——10月期ビジュアル

2022 年度ポスター

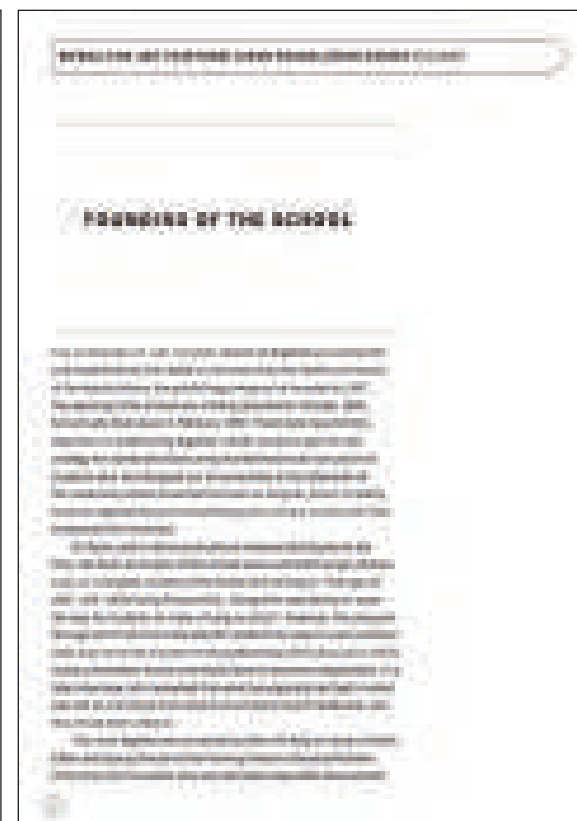
- デザイン——鈴木健太
- プリント——美学校 シルクスクリーン工房
- サイズ——B2 (515×728mm)



印刷物ほか——22年度ポスター——

美学校編『美学校 1969-2019—自由と実験のアカデメイア』英訳（部分）

- アートプラットフォーム 文献資料リサーチプロジェクト
- 翻訳——美学校、マイク・フォー、山本浩貴
- 詳細——<https://artplatform.go.jp/ja/resources/readings/R202234>



印刷物ほか——その他



上段：腐食した排水管の交換、床の張替え 下段：棚の増設、倒壊した食器棚の修理

印刷物ほか — その他



上段左：久住昌之さんが出演したテレビ番組「Face To Face」(NHK WORLD-JAPAN)の収録風景 上段右：美学校の特集が組まれた『アクセス』148号(青林工藝舎)
下段：2階の壁面設置工事、什器制作風景

美学校 年次報告書 2022

発行日——2023 年 10 月 31 日

編集——木村奈緒、うらあやか、皆藤将（美学校 事務局）

写真——皆藤将、長尾悠市、有田尚史（美学校 事務局）

発行元——美学校 本校 事務局

東京都千代田区神田神保町 2-20 第二富士ビル 3F

TEL : 03-3262-2529 MAIL : bigakko@tokyo.email.ne.jp